

漢字

部首

六、加系

速達がととく

文章の流れをつかもう

「白いぼうし」の内容を、次のようにまとめました。「①」

⑤にあてはまる言葉をあとから一つずつ選び、書きましょう。

松井さんの①は、夏みかんのいいにおいがしていた。

車道のそば
落ちて②をつまみ上げたたん、
もんしろちようが飛び出してしまった。
(ちようがいなくなっていたら、ぼうしの持ち主がびっくりするだろう)……かわりに③をおいた。

車にもどると、まいごだというかわいい女の子がすわっていて、
菜の花橋までのせていくことになった。

遠くから④をかかえた男の子とお母さんがやってきた。「本当のちようちよが、いたんだもん。」

女の子にせかされて松井さんは出発したが、男の子がどんなにおどろいたろうと考えて、笑いがこみ上げてきた。

車にのっていたはずの女の子がいない。

小さな野原
たくさんの⑤が飛んでいた。そして、「よかったね。」「よかったよ。」という小さな声が聞こえてきた。

白いちよう
白いぼうし
タクシー
虫取りあみ
夏みかん

言葉の意味をかくにんしょう

次の言葉の意味を書きましょう。

⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		★	
意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉
	かすかに		はじける		こみ上げる		ひとりでに		なにしろ		かまえる		すぼめる		たくし上げる
	例		例		例		例		例		例		例		例
	遠くからかすかに歌声が聞こえる。		えんどう豆がはじけて、中から豆が飛び出す。		なみだがこみ上げてくる。		ひとりでにドアがしまる。		のどがからからだ。なにしろ暑いからね。		ホームランをねらってバットをかまえる。		雨がやんだので、かさをすぼめる。		ズボンのすそをひぎまてたくし上げる。